

	<h1>明日を拓く</h1>	<h2>学校報</h2> <p>令和3年 1月21日 No.38 美郷町立美郷中学校</p>
---	----------------	--

■一人一人のつながりを求めて 特別活動研究授業

1月19日(火)に、県教育庁南教育事務所仙北出張所指導主事Y. OO先生をお迎えし、2年3組が学級活動の時間の話し合いを公開して、教員が研修を行いました。



2年生として残された期間で、仲間のつながりをより一層深め、学級の有終の美を求めて進級に備えようという、心開いた一人一人の思いが率直に出し合われた話し合いとなりました。2年間の立派な成長を見ることができました。

■「ありがとう煌輝」♡3年生に感謝する会♡



1月20日(水)、新生徒会役員が中心となって、標記の会を開催しました。冒頭では、感謝の気持ちと進学への激励を込めた折り鶴で表現した「翔(はばた)け煌輝!!」(翔に「はばたく」という意味を込めて読むようにした)の看板が披露され、途中

でもこれまでの感謝の垂れ幕が出てくるくす玉割りが行われるなど、1、2年生の心のこもった会となりました。

また、3年生への感謝と激励のエールに対しては、1、2年生へエールでお返しされ、温かい絆を感じることができました。声量ではさすが3年生を示してくれました。会の進行や全員の協力など、先輩に学んだ



成果が生かされており、声量もこの後の卒業式や新年度の様々な場面で生かしてくれることでしょう。



■サプライズコンサート!!栗林聡子さん♡♡



10月頃、シンガーソングライターとして活躍されている美郷町の先輩(六郷中学校卒業)の栗林聡子さんから、「新型コロナウイルス禍のために辛い思いを乗り越えている3年生のために、そして美郷中生のために、歌で元気をプレゼントしたい。」との申出を頂戴しておりました。そして、「2番以降の歌詞には、3年生の学校への想いを表した言葉を使いたい。」とのご提案でした。そこで、新生徒会の初仕事として、このことを秘密にして、3年生から「学校への想い」というアンケートを行い、栗林さんにお渡ししました。

この度の感謝する会は、曲の完成披露の場として、サプライズコンサートになったのでした。豪雪で荒天の中、栗林聡子さんにはステージや音響の設定、リハーサルなどと何度も足を運んでいただき、その上、素晴らしい歌をプレゼントしていただきました。この後、大切に教育活動に活用させていただきます。

全校生徒が、じっと立ちすくんで聴き入り、共感した生徒の目からは一粒流れるものもありました。本当に感動的なひとときとなりました。ありがとうございました。



煌めき輝く明日へ

作詞、作曲 栗林 聡子

「なんで私たちだけ」って
何度口にしたろう 光 失って
悔し涙でも うれし涙でも
集大成 見せたかった

体育館の床に 染みこんだ汗
太陽の下 走った日々
呼吸合わせ ひとつの音をつくり
全員が主役だったね

それぞれの道 歩き出していく
本当は もう少しだけ
「おはよう」って言って 笑って ふざけ合って
当たり前を過ごしたかった だけど

乗り越えた ぼくらはきっと
誰よりも強く 誰よりもやさしく
生きていけるから 離れても
煌めく絆 ずっと

ビルが立ち並ぶ街を 空気を
感じたかった 修学旅行
だけど ふるさとの空が どこよりも
キレイだって 気がついたので

前夜祭 スポットライト浴びる
君の横顔と 笑い声と
3年間の思い出が 全部
昨日のことのよう思うの

毎日毎日 バカ騒ぎして
ずっと続くと 思ってたな
「また明日ね」って 言えなくなるなんて
考えたくはないよ だけど

それぞれの道にはきっと
夢というつぼみが 花を咲かせるから
どんなときも 味方であるよ
輝く絆 ずっと

「階段のぼるの面倒だな」って
思いながら 過ごした日々
気づいたら 教室で過ごしたのは
驚くほど あっという間で

もう少しだけ 笑っていたいよ
本当は君を 好きだったよ
止めどない想いは溢れる 桜の下で

乗り越えた ぼくらはきっと
誰よりも強く 誰よりもやさしく
生きていけるから 離れても
煌めく絆 ずっと

それぞれの道にはきっと
夢というつぼみが 花を咲かせるから
どんなときも 味方であるよ
輝く絆 ずっと
煌めく絆 ずっと

